

力あわせて 政治を変えましょう

県議選挙
4月10日

いのちを生き育てる女性だからこそ
いのちと暮らしを大切にする
政治を実現します

日本共産党

並木 としえ

党春日部市委員長
(県議会議員予定候補)

プロフィール

●1960年東京生まれ(50歳) ●文教大学卒業 ●武里団地自治会役員、保育所・学童保育所父母の会会長など歴任 ●市議会議員4期12年 ●現在日本共産党春日部市委員長

「重い障害をもつ我が子は、大けがをしてもみてくれる病院が見つからず、『30分遅れたらダメでした』と言われたり：必死で守ってきたけど、私が死ぬときは連れていくしかない」と言うお母さん。「この不況でもう仕事はない。わずかな年金では食べていけない」と自営業の方。立場の弱い方たちの命を削る政治に怒りがこみ上げます。

「こんな政治でいいのか」という思いを何度も胸に刻んで来ました。私は、この方たちの願いをしっかりと受け止め、国民を苦しめる政治をやめ、いのちに寄り添い、暮らしを応援する政治に切りかえます。

ぜひ、力を合わせて政治を変えていきましょう。

- 地域経済を元気にする住宅リフォーム助成制度をつくりまします。
- 一般家庭の耐震補強工事に県の助成を実施します。
- 国民健康保険税を一世帯一万円引き下げます。
- 低所得者の介護保険料を、一人5000円引き下げます。
- 子ども医療費を、通院も中学卒業まで無料にします。
- 青年の就業と自立を支援します。春日部にヤングキャリアセンターを設置します

全国6位の

財政力で実現します

東日本大震災で被災されたみなさんに心からお見舞い申し上げ、救援に全力をつくします。

●3面に救援募金のお願い

新春日部

2011年3月号外 発行●日本共産党春日部市委員会

〒344-0067 春日部市中央7-10-9 ☎048-738-4373 FAX 048-738-4379
日本共産党春日部市委員会の見解を紹介します

みなさんの願いをしっかりと届けます

並木としえは、34歳のとき春日部市議会議員に初当選し、4期12年間、市議として活動してきました。当選した当時、3歳と7歳の子育て真っ最中でしたが、若いお母さんたちと地域の要求実現活動にとりくみ、当時、春日部に一つもなかった児童館をつくり、子ども医療費無料化の拡充などに全力をつくしてきました。

市議としての経験も生かし、こんどは県議会で働かせてください。



「安心して働きたい」
この願いを届けたいです

「明日で解雇だ」と言われた。「昼と夜働いてもわずか月収18万円。国保税はとも払えません」…若い派遣労働者から聞いた切実な声です。

並木としえは、県に対して「春日部市にヤングキャリアセンターの設置、雇用の確保」を求めています。



県庁で雇用確保の要望書を手渡す

地域経済を元気に
住宅リフォーム助成制度を
つくりたい

「景気回復なんて、われわれ零細の商店には実感はない。大企業ばかり内部留保をため込んで。自営業者の声は自民党や民主党には届いていないのか」…商店街の人たちの声です。

並木としえは、削られた商工業の予算を増やし、住宅リフォーム助成制度をつくって地域に根ざす自営業者を応援します。



どうしても
必要です！

春日部に日本共産党県議を

市立病院の小児科・産科の
再開と新病院建設に全力

「救急車が来てもスタートするまで30分以上。搬送先の病院が見つからないなんておかしいですよ」…救急車をお願いした人の声です。

並木としえは、市立病院の小児科・産科が医師・看護師不足で休止した時、市民のみなさんと力をあわせ4万筆をこえる署名も集め再開させることができました。また、市立病院の建てかえも決まりました。



子どもも親も
希望持てる教育を実現

30人学級・全教室にエアコン設置を

並木としえは、昨年12月から連日、春日部駅西口で「全教室にエアコン設置」を求める署名にとりくみ、2057筆の署名がよせられました。

並木としえは、30人学級の実現、全教室にエアコンの設置など教育条件を整備するよう県や市に要望しています。



県庁で「全教室にエアコン設置」の署名を手渡す

医療の充実に期待します

瀬戸井利江子(元看護師)

並木さんは、市立病院の小児科・産科の再開や救急医療の充実に求める運動の先頭に立ってきた人です。今度は、県議会で安全・安心の医療が実現できるようがんばってほしいと期待しています。

子育て世代の気持ちができる人

小椋 晶(子ども医療費無料制度を拡充する会・会長)

並木さんは、子ども医療費を7歳の誕生日まで、無料にするために、私たちと一緒にがんばってきました。子育て世代の気持ちができる並木さんに、ぜひ県議会で活躍してほしいと期待しています。